

# 第三回留学報告書

宇隨 佳

マサチューセッツ工科大学  
経済学部博士課程

2023年7月

## 1 はじめに

MIT 経済学部の博士課程に在学中の宇隨佳です。早いもので留学を開始してから1年が経とうとしています。本報告書ではPh.D.1年目を振り返ります。

## 2 生活

前学期で授業や研究の生活リズムをつかむことが出来たので、今学期は余暇時間をより上手く使えるようになりました。フェンウェイパークでレッドソックス対エンジェルスを観たり、同じプログラムの友達とニューポートという街に一泊二日で旅行に行ったりしました。研究以外の時間を充実させることが結果として学校生活にも好影響を与えたので、今後も適度に息抜きを図りたいです。また7月から、同じ寮内の眺めが良い部屋に移ることが出来ました。日当たりも良いので、太陽光を浴びることが心身に好影響を与えてくれることを期待します。



ニューポート。5月の海は極寒でした。



新しい部屋からはボストンの街並みとチャールズ川が一望できます。

### 3 授業・研究

今学期は前半4つ、後半3つの授業を履修すると同時に、二つの研究プロジェクトを進めてきました。授業については勝手にわかってきたこともあり、前学期より研究に多くの時間を割くことが出来ました。一つ目のプロジェクトは、格付機関などの情報仲介業者の存在が情報の質に与える影響を、経済理論を用いて分析したものです。こちらに関しては、夏休み期間に完成させることを目標に共著者と執筆に取り組んでいます。二つ目は日本銀行のETF 買い入れ政策の効果を理論・実証の両面から分析しようというものです。まだ始めたばかりですが、順調にいけば2年次の要件である second year paper にしたいと考えています。これら以外にも、新たに理論のプロジェクトを開始する話もあり、充実した夏を過ごせています。私は経済理論とマクロ経済学・金融の2つを軸に研究しているのですが、そのそれぞれで研究を共にできる友達を見つけられたことがこの一年の何よりの収穫かもしれません。

### 4 おわりに

私がこうして留学生生活を存分に楽しめているのは船井情報科学振興財団の皆様のおかげです。奨学生としていち早く良いご報告ができるよう、引き続き精進してまいります。